

大田っ子だより R7. 2. 26 文責 校長

「ありがとうございました」

～大成功！ 感謝の会～

2月21日(金)、これまでお世話になった地域の方々やうちの方に感謝の気持ちを伝える“感謝の会”を体育館で行いました。昨年12月から子どもたちが会に向けて話し合いや準備を重ねてきた本番の日です。子どもたちが招待状を送った地域の皆様とともに、この日は、学年末の授業参観を兼ねていることから、保護者の皆様も多数来校くださいました。

第一部の学習発表。1年生はさつまいもづくりの体験を劇にして発表しました。1学期に学習した物語「おおきなかぶ」にある台詞をもじって、土に埋まったさつまいもを、“うんとこしょ どっこいしょ”と引っ張ります。固い土の中にあるさつまいもはなかなか抜けません。しかし、とうとう大きな大きなさつまいもが抜け、会場からも拍手がわきます。1年生にとっては、初めてとなる体育館のステージ上での発表。はじめはちょっぴり緊張気味でしたが、少しずつ場に慣れてきて声もだんだんと大きくなり、立派な発表ができました。



2・3年生は合同で、大田庁舎に行ってインタビューしたり地域探検で調べたりして気づいた、“大田のすてき”についての発表です。すてきだなと思ったことを俳句で表したり、クイズを出したりして、とても工夫されたものでした。「イナゴ供養塔」の本当の名前は何か？



①施肥種第五妙典昆虫供養塔 ②石書醜胡妙典蝗蟲供養塔 ③イナゴのお墓」というクイズが出されました。4年生以上の子供たちや地域、保護者の皆さんの多くは、②の石書醜胡妙典蝗蟲供養塔 に手を挙げています。見事正解です。さすが地域に住まわれている皆様です。

感謝の会をこれまで経験している2・3年生だけあって、落ち着いた様子で声も大きく、堂々とした発表でした。

4～6年生も合同の発表で、理科や外国語、音楽等で学んだことについて、授業の様子を再現した劇での発表です。

理科では、てこの原理を使ったクイズを観客に出し、外国語では、自分の将来の夢を英語で発表です。音楽では、

オルガンとリコーダーで鉄腕アトム曲を演奏。

最後に、縄跳びの技を見せてくれました。“はやぶさ”等の高度な技を、軽々と跳び、拍手がわきます。

高学年になると、学習内容も難しくなっていきますが、教科それぞれについてしっかり学び、自分のものになっていることが伝わる立派な発表でした。



全校で“ありがとうの花”の歌を歌って感謝の気持ちを届けた後は、いよいよ手作りおもちゃで遊ぶ時間です。“どんぐりを使ったやじろべえ”“台紙の裏から磁石をあてて力士を動かす相撲ゲーム”“ねじれたゴムがもとに戻ろうとする力を使って物を動かすおもちゃ”“コリントゲーム”“魚釣りゲーム”“千本くじ(お土産)”他、たくさん手作りおもちゃが準備されています。

1～6年生の子どもたちは、それぞれのおもちゃの店主役となり、「後ろから磁石をあてて・・・」等と、地域の方々やうちの方に遊び方を教えてあげています。お客様はいろいろなコーナーに行き、遊びとともに子どもたちとのふれ合いを笑顔で楽しんでくださっています。

終わりの会で、地域の方から子どもたちへと、学習発表の頑張りを褒めていただくとともに、その後の手作りゲームも楽しかったとお言葉もいただき、大盛況のうちに幕を閉じました。



12月からこの日のために、子どもたちが知恵を出し合い、全校で協力して準備してきた手作りの感謝の会。子どもたちの“ありがとう”の気持ちが、お世話になった地域の皆様やうちの方に十分届いたようで、大成功のものとなりました。自分たちで発案、準備、実行し、自分たちの願いが達成できたこの経験は、子どもたちの大きな自信になるとともに、さらなる自主的な活動へのはずみとなることでしょう。今後の子どもたちの成長が楽しみでなりません。

地域の皆様、保護者の皆様、ご多用の中感謝の会にお越しいただき、誠にありがとうございました。今後とも、子どもたちへのご支援・ご協力を、何卒お願い申し上げます。